

<事業名> おまつり探検隊

団体名	但馬民俗芸能応援隊
所在地	(事務局) 豊岡市城崎町
代表者名	会長 岡 助 吉

事業内容	<p>今年度は、おまつり探検隊として、4月に「温泉まつり（豊岡市城崎町）」、7月に「諸寄麒麟獅子舞（新温泉町諸寄）」、8月に「三宅の万灯（養父市三宅）」、10月に「生野秋祭り・屋台練り込み（朝来市生野町）」、1月に「沖浦の山の神（香美町沖浦）」の5ヶ所に出かけた。おまつり探検隊では、訪問先の代表者に解説をしてもらった後に、実際の行事を見学、また参加させてもらった。</p> <p>また、2月2日に豊岡市民プラザにおいて、「第9回民俗芸能の保存・継承を考えるフォーラム」を、養父市教育委員会教育部次長の谷本進氏をお招きして開催した。講師からは、但馬民俗応援隊の事業に関わりのある内容から、養父市あるいは但馬での歴史的・文化的な出来事について、親しみやすい講話をしていただいた。</p>	
地域	但馬全域（参加者は地元をはじめとして全国各地から）	
事業の効果	<p>①団体（組織）内の効果</p> <p>今年度のおまつり探検隊は出かけていくだけでなく、地元の保存団体や区長などの関係者に解説をお願いし、歴史的背景や芸能の意味、行事の手順などを学んだ上で、行事に参加した。また、関係する食についての勉強もするなど、これまで以上に、伝統芸能や年中行事を深く掘り下げることができたと思う。</p> <p>②地域への効果</p> <p>地元関係者から直接解説を聞くことによって、おまつり探検隊で出かけていく地元の方々との交流が深められたのではないかと考える。また、探検隊やフォーラムの前には、ホームページを更新してお知らせし、他にも SNS を利用して発信することにより、会員以外の参加者が増えてきた。</p>	
事業経過	年 月 日	
	30年4月10日	但馬民俗芸能応援隊総会・企画会議（但馬文教府）
	30年4月24日	おまつり探検隊（温泉まつり/豊岡市城崎町）参加者7名
	30年7月15日	おまつり探検隊（諸寄麒麟獅子舞/新温泉町諸寄）参加者8名
	30年8月24日	おまつり探検隊（三宅の万灯/養父市三宅）参加者11名
	30年10月7日	おまつり探検隊（生野屋台練り込み/朝来市生野町）8名
	30年11月22日	役員会（役員宅）
	30年12月5日	緊急役員会（女代神社）
	31年1月6日	おまつり探検隊（沖浦の山の神/加美町沖浦）14名
	31年2月2日	但馬民俗芸能の保存・継承を考えるフォーラム（豊岡市民プラザ）22名
	31年2月2日	役員会（女代神社）
	31年2月18日	役員会（女代神社）

協働の相手方	但馬各市町教育委員会、但馬夢テーブル委員会、城崎温泉観光協会、温泉寺、諸寄為世永神社、新温泉町歴史と文化の薫るまちづくり委員会、三宅大與比神社、生野地域自治協議会、沖浦区長、沖浦子ども会
今後の課題等	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>①団体（組織）の課題 会員が高齢化してきており、参加する会員が固定化している。会員数を増やし、若い年代の入会を図っていくことが喫緊の課題である。</p> <p>②地域の課題 少子高齢化や社会情勢の変化などにより、伝統行事や伝統芸能の保存・継承が難しい。また、それによって本来の形が崩れてしまっていく危機感もある。</p> <p>〈31年度以降の事業計画〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おまつり探検隊は4～6回開催し、開催前には事前学習するなどの勉強会を計画する。 ・ ホームページの充実を図り、より広く会員を募る。 ・ 年間の事業についての報告書を作成し、記録保存していく。



4月24日 温泉まつり（豊岡市城崎町）



7月15日 諸寄麒麟獅子舞（新温泉町）



8月24日 三宅の万灯（養父市）



10月7日 屋台練り込み（朝来市生野町）